

日本医療薬学会

第1回 フレッシュヤーズ・カンファランス プログラム

JSPHCS 1st Freshers' Conference

平成 29年 6月 25日(日)

慶應義塾大学薬学部(芝共立キャンパス)

日本医療薬学会

第1回 フレッシュャーズ・カンファランス

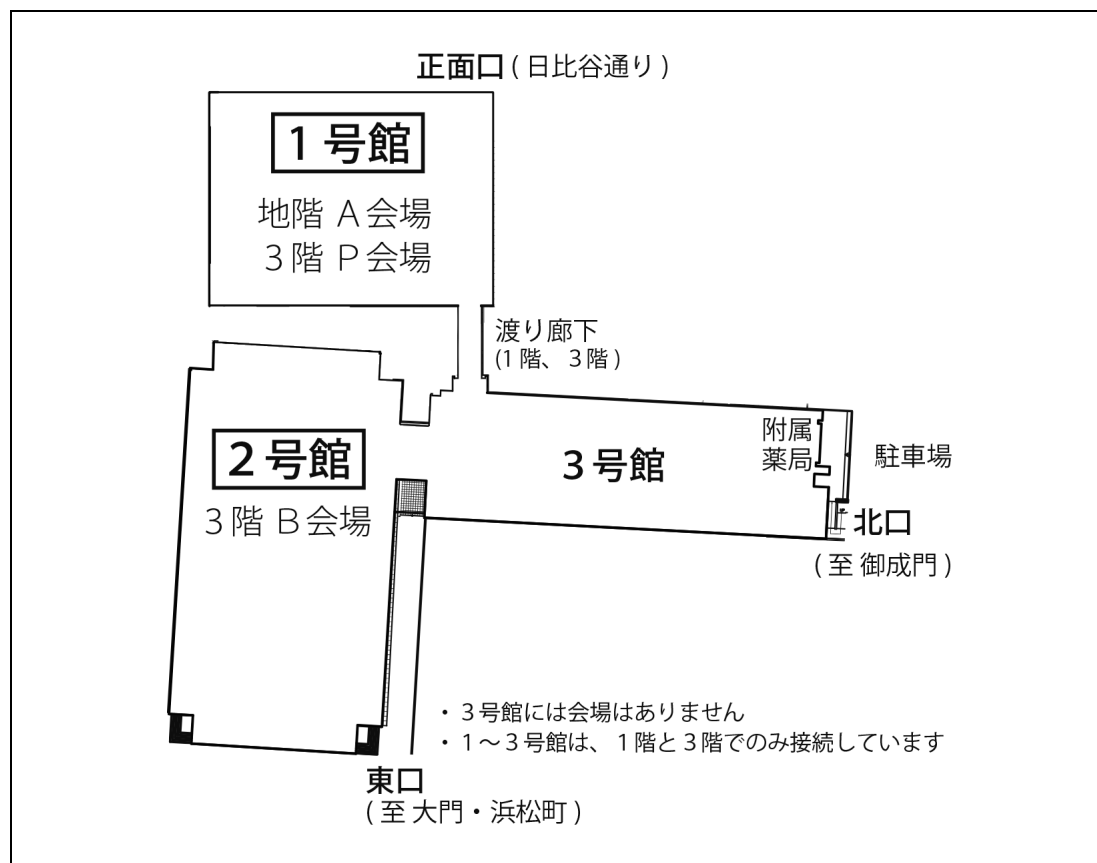
会 期：2017年(平成29年)6月25日

会 場：慶應義塾大学 薬学部(芝共立キャンパス)

主 催：一般社団法人 日本医療薬学会 フレッシュャーズ・カンファランス企画小委員会

実行委員長：大谷 壽一(慶應義塾大学薬学部)

会場ご案内



所在地

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

交通

都営地下鉄三田線「御成門」駅 A2 出口 徒歩 2 分

都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅 A6 出口 徒歩 6 分

JR・東京モノレール「浜松町」駅北口 徒歩 10 分

アクセス

<http://www.pha.keio.ac.jp/campus/access/index.html>

プログラム

	A会場 1号館地階 マルチメディア講堂	B会場 2号館3階 355講義室	P会場 1号館3階 多目的ホール(体育館)
12:00	12:00-12:45 演者受付	12:00-12:45 演者受付	
12:30			12:30-13:30 ポスター貼り出し
12:45			
13:00	12:50-13:00 開会式 (10分)		
13:15	13:00-14:00 口頭発表 A 1 (10分 × 6 演題)	13:00-14:00 口頭発表 B 1 (10分 × 6 演題)	
13:30			13:30-16:30 ポスター展示
13:45			
14:00			
14:15	14:05-15:15 口頭発表 A 2 (10分 × 7 演題)	14:05-15:15 口頭発表 B 2 (10分 × 7 演題)	
14:30			
14:45			
15:00			
15:15			
15:30			15:20-16:00 ポスター示説 (40分)
15:45			
16:00			
16:15	16:10-16:50 教育講演 (40分)		
16:30	山田安彦 (東京薬科大学教授)		
16:45			
17:00	16:50-17:00 優秀演題賞発表・閉会式 (10分)		
17:15			17:00-17:15 ポスター撤収
17:30			

第1回 フレッシュヤーズ・カンファランス 発表者の方へのご案内

【1】 利益相反の開示について

本学会では、「利益相反マネジメント規程及び運用細則」を制定し、開催される学術集会等において適用することになりました。つきましては、本カンファランスにおきましても、発表者（筆頭者のみ）の方々は、発表内容に関連する利益相反状態の開示が必要となります。利益相反の開示方法は以下の通りとします。

○口頭発表の場合

- ・タイトルスライドを設け、タイトルスライド内、もしくは2枚目（タイトルスライドの後）に、開示をしてください。

○ポスター発表の場合

- ・ポスターの下端に記載してください。

いずれも、開示の対象、基準に該当しない場合であっても「開示すべき利益相反はありません。」と記載してください。

詳細な書式について指定のものはありませんが、第24回日本医療薬学会年会のサイト(2014年)より利益相反の開示スライドのサンプルをダウンロードできますので、適宜ご参照ください。

開示の対象と基準につきましては「利益相反マネジメント規程」第5条に記載されていますが、7ページにその抜粋を示します。

【2】 口頭発表演題

○ 講演時間

発表 8分

質疑討論 2分

※発表と質疑討論を含めて1演題 10分以内とします。円滑な進行のため、時間厳守にご協力ください。

※ 映写は1面のみとなります。

※ PCの画面送り操作は、発表者ご自身で行っていただきます。

○ 発表データの作成

- ・講演会場には発表用PCを用意します。OSはWindows 10、データ形式はMicrosoft Powerpoint 2007/2010/2013/2016、解像度 XGA (1024×768) となります。

- ・PCの持ち込みはできません。

- ・発表データに使用するフォントは、OS標準フォントのみとしてください。標準フォント以外のデータは、正しく表示されないことがあります。

- ・動画はWindows Media Playerで再生可能なものに限定します。

- ・発表用PCでは、インターネットへの接続はできません。

- ・ファイル名は、「演題番号_演者氏名」としてください。
- ・お預かりしたデータは、会場内の PC に一旦保存し、終了後は責任をもって消去致します。

○ 受付

- ・発表データは USB フラッシュメモリとして持参し、12:00～12:45 の間に口頭発表受付カウンターまでお持ちください。
- ・発表開始 20 分前までに会場内の次演者席にご着席ください。

[3] ポスター発表演題

○ ポスター展示時間

13:30～16:30

○ ポスター示説時間

15:15～15:55

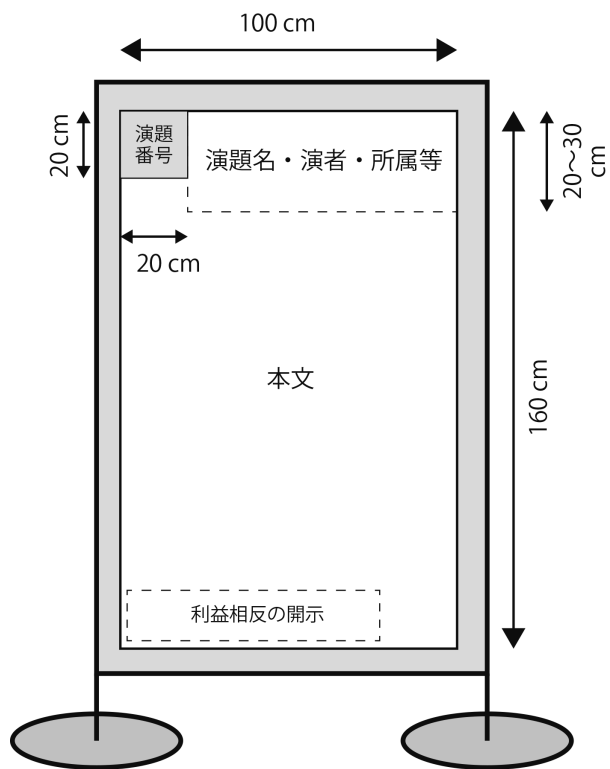
○ ポスターの作成と展示

- ・ポスターの大きさは横 100 cm、縦 160 cm 以内としてください（下図参照）。
- ・演題番号の表示は事務局で用意致します。
- ・演題名・演者・所属等は横 80 cm、縦 20～30 cm の範囲で記入してください。
- ・当日は、13:30 までに貼出を完了してください。
- ・貼出にあたっては、備え付けの押しピンを使用してください。
- ・発表者は、示説時間になりましたら、ポスターボードに備え付けのリボンを胸につけ、ポスターの前にお立ちください。
- ・座長の進行による発表は行いません。

○ ポスター撤去時間

展示時間後、17:15 までに撤去してください。

17:15 を超えて展示されているポスターは事務局で撤去し、処分致します（返却致しません）。



＜利益相反の開示の対象と基準＞

(一社)日本医療薬学会 利益相反マネジメント規程より抜粋

	内容の説明	申告の基準種類
企業または営利を目的とした団体の社員、役員、顧問職	企業または団体からの報酬額	100万円以上
株の所有	企業についての1年間の株式による利益(配当、売却益の総和)または当該企業の全株式の保有率	100万円以上 または5%以上
特許権使用料	特許権に対する使用料の年間合計額	100万円以上
講演料等	企業または営利を目的とした団体から、会議の出席(講演・座長)等に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料の年間合計額	50万円以上
原稿料	企業または営利を目的とした団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料の年間合計額	50万円以上
奨学寄付金(指定寄付金)	企業または営利を目的とした団体から支払われた研究費または奨学寄付金の年間合計額	100万円以上
訴訟	訴訟等に際して1つの企業または営利を目的とした団体から支払われる顧問料および謝礼の年間合計額	10万円以上
寄付講座	企業または営利を目的とした団体から寄附講座の提供あるいは、申告者の給与が寄附講座または企業からの外部資金によってまかなわれている場合	事実を記載
研究員・非常勤講師・客員教員・社会人大学院生等の受入	企業または営利を目的とした団体から研究員・非常勤講師・客員教員・社会人大学院生等を受け入れている場合	事実を記載
その他の報酬	企業または団体から受けたその他の報酬(研究とは直接無関係な旅行、贈答品など)の年間合計額	5万円以上

プログラム

教育講演

A 会場（1号館地階マルチメディア講堂）

16:10~16:50 座長: 佐々木 均（日本医療薬学会会頭 / 長崎大・病院薬剤部）

フレッシュャーズのための医療薬学研究のポイント

東京薬科大学薬学部 教授

山田 安彦

口頭演題

A 会場 (1号館地階マルチメディア講堂)

A1-1~A1-6 (13:00~14:00) 座長: 堀 里子 (東京大・薬)

- A1-1 フルルビプロフェンの製剤間における抗血小板作用の評価
東京薬科大学薬学部 窪田 有記
- A1-2 ペムブロリズマブ常用量投与時のPD-1阻害に関するモデル解析に基づく検討
東京薬科大学薬学部 長田 優介
- A1-3 TNFR II 遺伝子 78+6528 G/A 多型が TNFR II の量的変化に与える影響
東京薬科大学薬学部 山田 粉子
- A1-4 FCGR3A 遺伝子-158V/F 多型が作用部位における TNF 阻害薬濃度を与える影響
東京薬科大学薬学部 佐藤 正輝
- A1-5 TNF 阻害薬の GDF-1 発現に対する作用に関する検討
東京薬科大学薬学部 荒井 海輝
- A1-6 虚血・再灌流障害に伴う急性腎障害時におけるミダゾラムの体内動態評価
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 徳永 彩子

A2-1~A2-7 (14:05~15:15) 座長: 岡田 裕子 (高崎健康福祉大・薬)

- A2-1 コンドロイチン硫酸は細胞外ヒストンによる血管内皮障害を介した臓器障害を抑制する
名城大学薬学部 長野 文彦
- A2-2 レンバチニブ治療における Gr3 蛋白尿の実態と対応に関する調査
国立がん研究センター東病院 薬剤部 阿部 紀子
- A2-3 頭頸部癌シスプラチン化学療法のマニトール含有、非含有による腎機能障害の比較
国立がん研究センター東病院 薬剤部 三浦 華歩
- A2-4 シスプラチン起因性腎障害に対するマグネシウムの軽減効果の機序
北海道大学大学院 生命科学院 岡本 敬介
- A2-5 2型糖尿病患者における DPP-4 阻害薬が腎機能に及ぼす影響
岐阜薬科大学薬学部, 一宮市立市民病院薬剤局 江崎 宏樹
- A2-6 trastuzumab/lapatinib 耐性乳がんにおける Yes1 の重要性
岡山大学病院 薬剤部 武田 達明
- A2-7 大腸がん腹膜播種に対する VEGF-siRNA ナノ製剤の開発
長崎大学薬学部 木場 啓太

B 会場 (2号館3階 355 教室)

B1-1~B1-6 (13:00~14:00) 座長: 前澤 佳代子 (国際医療福祉大・薬)

- B1-1** 保健機能食品に関する人工知能を活用した情報検索システムの構築と評価
星薬科大学 薬剤師職能開発研究部門 石橋 佳奈
- B1-2** 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬の処方実態の調査ならびに地域多職種
モニタリングシートの検証
星薬科大学薬学部 具志 美佳
- B1-3** 介護施設における服薬介助関連業務の現状解析
東京大学大学院薬学系研究科 木崎 速人
- B1-4** 患者 QOL が服薬コンプライアンスに及ぼす影響
岐阜薬科大学薬学部 杉田 郁人
- B1-5** 冷所保存が必要な混合外用薬のアドヒアランス調査と代替薬の検討
株式会社 ケンユウ ケンユウ女池上山薬局 阿部 佑一
- B1-6** 日本におけるアタマジラミ症治療薬整備に向けた探索的臨床研究 (本州トライアル)
東京理科大学薬学部 金谷 有紗

B2-1~B2-7 (14:05~15:15) 座長: 石井伊都子 (千葉大・薬)

- B2-1** 情報源としての患者向医薬品ガイドの評価
ー質問票を用いたユーザーテストの試みー
大阪薬科大学薬学部 西村 春香
- B2-2** ワークショップを活用した登録販売者研修プログラムの構築
東京大学薬学部 望月 美里
- B2-3** 中学1年生に対するがん教育のプログラム作成と実施
神戸薬科大学薬学臨床教育センター 浅田 聖士
- B2-4** パーキンソン病患者に対する非定型抗精神病薬の有用性評価：ベイズ流メタ解析
静岡県立大学 薬学研究院 医薬品情報解析学講座 池谷 怜
- B2-5** ベプリジルの投与量が副作用発現に及ぼす影響
筑波大学附属病院薬剤部 中山 直樹
- B2-6** 末梢静脈輸液における *Candida albicans* の増殖とビオチンの影響
奥羽大学薬学部医療薬学分野 落合 達也
- B2-7** 急性 GVHD 治療薬テムセル HS 注の実務環境下における安定性・調製から投与完了
まで
国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 中山 洋輔

ポスター演題

P 会場 (1号館3階 多目的ホール)

展示時間: 13:30~16:30

示説時間: 15:20~16:00

- 1 マウスの脳内におけるリーリン分解酵素 ADAMTS-2/3 ノックダウン法の検討
名古屋大学医学部附属病院 常浦 祐未
- 2 HK-2 細胞における薬物トランスポーターの発現に対する DNA メチル化の寄与
立命館大学薬学部 原本 真紀
- 3 腎有機カチオントランスポーターを介したメトホルミン輸送に及ぼす造影剤の影響
立命館大学薬学部 越智 由紀子
- 4 アピキサバンの代謝反応における CYP3A5 の寄与に関する基礎的検討
立命館大学薬学部 元永 彩
- 5 CYP2C19 の活性に及ぼすエソメプラゾールとボノプラザンの影響
武蔵野大学薬学部 吉原 早映
- 6 5-フルオロウラシルの代謝活性に及ぼすメトロニダゾールの影響
武蔵野大学薬学部 荻野 晃大
- 7 5-FU 誘発性消化管障害時のジゴキシンの吸収変動
慶應義塾大学大学院 薬学研究科, 第一三共株式会社 四元 敬一
- 8 薬物吸収に対する胃内 pH および食事の影響 —小動物を用いた評価—
慶應義塾大学 薬学部 今岡 鮎子
- 9 フェンタニル経皮吸収型製剤を半面貼付した場合の貼付面積及び残存率について
神戸薬科大学薬学臨床教育センター 朴 聡美
- 10 マウスにおけるプロポフォール[®]の体内動態および麻酔効果に及ぼす肥満の影響
武蔵野大学薬学部 曾我 亜未
- 11 知覚・痛覚定量分析装置を用いた一般用インドメタシン製剤の鎮痛効果の評価
帝京大学薬学部 阿久津 まどか

- 12 医療用鎮痛外用剤（ケトプロフェン、フェルビナク）における鎮痛効果の評価
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 清水 智之
- 13 唾液中オキシトシンを指標とした GABA 及びラベンダーオイルによるストレス緩和効果
東京薬科大学薬学部臨床薬剤学教室 岡元 ちよみ
- 14 加齢黄斑変性症に対する抗 VEGF 薬の全身性作用に関する理論的評価
東京薬科大学薬学部 椎名 美莉
- 15 トリプタン系薬剤の薬効評価に基づく適切な用量に関する検討
東京薬科大学薬学部 木村 友香
- 16 分子標的抗悪性腫瘍薬の医薬品開発におけるヒト初回投与量に関する検討
東京薬科大学薬学部 加藤 義隆
- 17 低分子分子標的抗悪性腫瘍薬の常用量設定に関する理論的評価
東京薬科大学薬学部 稲葉 未来
- 18 抗体医薬品の薬剤感受性と一塩基多型との関連
星薬科大学 疾患病態解析学 福永 葉月
- 19 調製環境中の抗がん薬飛散状況調査
千葉大学医学部附属病院 薬剤部 後藤 優理
- 20 オブラートによる服薬ゼリー代用の検討
明治薬科大学 臨床薬学部門 山口 真穂
- 21 緩和ケア病棟における使用薬剤とせん妄発生要因の関連性
明治薬科大学 臨床薬剤学研究室 荻野 瑞穂
- 22 緩和ケアにおけるステロイドの使用状況
神戸薬科大学薬学臨床教育センター 高橋 佳孝
- 23 当院でのリネゾリド使用実態調査（後方視的調査）
順天堂大学附属順天堂醫院 青嶋 瑞樹
- 24 高齢者におけるテラプレビル 3 剤併用療法の安全性の検討：後向きコホート研究
静岡県立大学薬学部 山中 美絵

- 25 レセプトデータを用いた出産前後の抗悪性腫瘍薬の処方実態調査
高崎健康福祉大学薬学部 前田 恵里
- 26 レセプトデータを用いた流産手術患者の悪性腫瘍に関する調査
高崎健康福祉大学薬学部 林 園恵
- 27 JADER を用いたスタチン製剤の有害事象発症実態の調査
帝京平成大学薬学部 池田 裕
- 28 JADER を用いた経口抗凝固薬による出血の要因解析
慶應義塾大学薬学部 南村 諒司
- 29 非扁平上皮非小細胞肺癌の前治療歴のある患者に対する Nivolumab の薬剤経済分析
慶應義塾大学大学院 薬学研究科 医薬品開発規制科学講座 大室 友佳
- 30 メタアナリシスを用いたアドヒアランス向上に対する患者教育と電子デバイスの効果比較
帝京平成大学薬学部 篠原 ひろみ
- 31 アドヒアランスの測定方法に対するシステマティックレビュー
帝京平成大学薬学部 大道 恒輝
- 32 クリニカルインディケータートとしてのクリニカルパス使用率算出方法の実態と問題点
帝京平成大学薬学部 小林 春菜
- 33 減少傾向にあったプレアボイド報告件数V字回復への取り組み
(公財) 東京都保健医療公社 大久保病院薬剤科 芝 琴奈
- 34 抗菌薬処方に関する薬剤師の意識調査
新潟薬科大学薬学部 柳澤 郁花
- 35 ロコモティブシンドロームに対する予防意識向上に関する研究
明治薬科大学地域医療コース 町田 凱保

第1回 フレッシュヤーズ・カンファランス 企画小委員会

委員長：大谷 壽一 (慶應義塾大学)
委員：青山 隆夫 (東京理科大学)
伊藤 清美 (武蔵野大学)
桂 敏也 (立命館大学)
中村 敏明 (大阪薬科大学)
山田 安彦 (東京薬科大学)

第1回 フレッシュヤーズ・カンファランス実行委員会

委員長：大谷 壽一 (慶應義塾大学)
委員：青山 隆夫 (東京理科大学)
石井 伊都子 (千葉大学医学部附属病院)
伊東 明彦 (明治薬科大学)
伊藤 清美 (武蔵野大学)
岡田 裕子 (高崎健康福祉大学)
倉田 なおみ (昭和大学)
濃沼 政美 (帝京平成大学)
継田 雅美 (新潟薬科大学)
堀 里子 (東京大学)
前澤 佳代子 (国際医療福祉大学)
山田 安彦 (東京薬科大学)
湯本 哲郎 (星薬科大学)
渡部 多真紀 (帝京大学)



JSPHCS 1st Freshers' Conference

日本医療薬学会

第1回 フレッシュャーズ・カンファランス 講演要旨集

平成 29 年 6 月 25 日 発行